

2015年12月4日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

## リオ州の安全情報53号

### フラメンゴ地区、ラゴア地区等における一斉取締りの実施

州軍警察本部によれば、12月1日（火）から、ラゴア地区、フラメンゴ地区、メイエル地区の3地区において、リオ州による治安対策の新しい取り組みとして、

「Operacao Seguranca Presente」と呼ばれる取締り作戦が展開されています。

作戦は、上記3地区において、不審者への職務質問を通じた一斉取締りを行うもので、作戦が開始されてから3日間で既に48人が凶器、薬物等所持の疑いで逮捕されるなど、これから夏本番を迎えるリオ市内の治安改善に期待が持たれます。

#### 1 取締りの概要

12月1日から、401人の警察官を投入（ラゴア地区126人、フラメンゴ地区164人、メイエル地区111人）し、不審者に対する職務質問を通じた取締り作戦を実施しています。作戦には州軍警察、文民警察、リオ市警察、その他リオ州交通局等の各機関が参加しています。

同作戦は、昨年からリオ市ラパ地区を中心に実施されてきましたが、今回、リオ州商工会議所からの要請及び出資を得て、上記3地区での実施が新たに決定されるもので、一時的なものではなく、今後2年間にわたって継続的に実施されることとなります。また、現在、同作戦を来年オリンピック・パラリンピックのメイン会場となるバウハ地区で展開することも検討されています。

#### 2 成果等

- (1) 12月1日、ラゴア地区で6人、フラメンゴ地区で5人、メイエル地区で12人を凶器、薬物等所持の疑いで逮捕（特にフラメンゴ埋立地では、盗品の携帯電話を複数個奪還したほか、59人の不審者を警察署まで任意同行）。
- (2) 12月2日、ラゴア地区で7人、フラメンゴ地区で2人、メイエル地区で3人を凶器所持、窃盗等の疑いで逮捕。
- (3) 12月3日、ラゴア地区で3人、フラメンゴ地区で8人、メイエル地区で2人を凶器、薬物等所持の疑いで逮捕。